



# Nagoya GRAMPUS

**名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ**  
 NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU-CHOME NAKAKU,  
 NAGOYA 460 JAPAN



- ① 国際会長標語 ユース—我らの財産・我らの誓い
- ② アジア会長標語 ひとつとなって青年とYMCAへ
- ③ 日本区理事標語 共に生きる喜びを確信しよう
- ④ 中部部長標語 交わろう隣人と
- ⑤ 会長標語 はみ出そうYMCA /

1996年 3月号

〈 今月の聖句 〉

兄弟たち、それではどうすればよいのだろうか。あなたがたが集まったとき、それぞれの詩編の歌をうたい、教え、啓示を語り、異言を語り、それを解釈するのですが、すべてはあなたがたを造り上げるためにすべきです。

コリントの信徒への手紙 — 第14章 26節

## 1996年3月例会のご案内

● 第一例会

と き ; 3月11日(月) 19時~21時  
 と ころ ; 名古屋YMCA 3階AVホール  
 プログラム ; 卓話 ~インターネットとは~  
 講師 日本インターネットアクセス株式会社  
 専務取締役・企画部長  
 春日 裕忠 氏  
 講師の春日さんは現在、名古屋YMCA野外活動センター運営委員としてご奉仕願っており、学生時代より、キャンプ等に積極的に参加していただきました。卒業後、歯科医師として活躍されてお見えでしたが、今回新しく、日本インターネットアクセス株式会社を

興され、広く一般にインターネットの窓口として活躍されております。今回の卓話では、私達にも分かりやすくインターネットをご説明いただくつもりです。

ドライバー 内垣内登昇兄  
 アシスト 馬場寅太郎兄

● 第二例会

と き ; 3月26日(火) 19時~20時30分  
 と ころ ; 名古屋YMCA 4階407号室

● ブリテン委員会

と き ; 3月19日(水) 19時~  
 と ころ ; 名古屋YMCA

## グランパストーク

### 超遠距離夫婦

先日、学生時代の親友であったS夫妻に会った。昨年6月に結婚したのだが、妻君は画家の卵で2年近くウィーンに滞在中で互いに単身生活をしていて、久しぶりに帰国されていた。私から見ると奇妙な関係に見えるが2人は互いに信念を持っていて、目的に邁進している姿はうらやましくもある。最近の欧州事情は個人主義、高福祉の影響か、孤独な老人が多いことと離婚又は片親だけというのがあたりまえの社会だそう。ノルウェーでは1学級で両親がいる子供を探す方が簡

単だそうである。子供は愛に飢え、大人の勝手な選択(同性愛とか)で家族というものが荒廃しかかっているとのこと。またエイズの危機は日本とは比較にならないくらい叫ばれていて、私には大げさなと思えなかった。彼女が力説するのは、先祖や親を敬う東洋の精神が欧州では大変評価されていて、日本はまだ間に合うので純血主義を守っていて欲しいとのこと。マスコミで知らされていることでは認識不足だが、なまで聞かされると身近に迫ってものとして考えさせられました。彼女は来月再びウィーンに渡り、当分滞在するとのこと。珍しい夫婦関係が続く2人をこれからも見守ろうと思います。 馬場寅太郎

2月27日現在	例 会 出 席 状 況				B F ポ イ ン ト		ク ラ ブ フ ェ ン ド (1月)	
	在 籍 者	23名	第 1 例 会	10名	当 月 ・ 切 手	—	ニ コ B O X ノ ー ト	0
	例 会 出 席 者	17名	第 2 例 会	17名	当 月 ・ 現 金	—	フ ェ ン ド	12,865
	当 月 出 席 率	74%	部 会 他	13名	累 計	—	合 計	12,865

ファミリープログラム

茶会報告

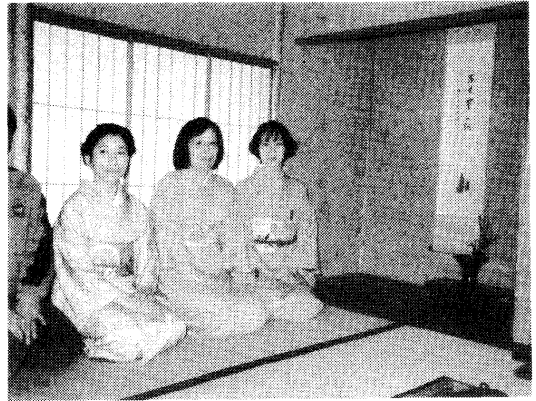


白鳥庭園の清羽亭にて無事茶会を開く事が出来ました。今までいろいろと茶席を開きましたが、この度は初釜としてなかなか格調高く品のある、まずまずの茶席となったように評価しています。加藤道子氏ほか奥を努めていただいた方々も、とても初めて茶会をしたとは思えないほど良くこなしたと感心しています。多少作法に問題がなかった訳ではないですが、御招きする客人の程度を考えれば、「まァー、どっちもどっちかな!」。

今回の席は、初釜と言う事もあって、雪月花の茶入れを中心に黒を基調とした少し程度の高い道具を揃え、楽焼きの干支茶碗(子)と桃の花の絵付けした茶碗を用意し、床飾りは立春らしく水仙の生花(盛り)、竹の子の軸、お菓子を万松庵の「菜の花」とさせていただきます。今回の茶席で初釜の身の引き締まるような気品と、立春からの春の訪れ感じ取って頂ければ何よりと思っております。また今回は普通では味わえない素晴らしい琴の調べが一段と茶席を盛り立ててくれたように感じました。

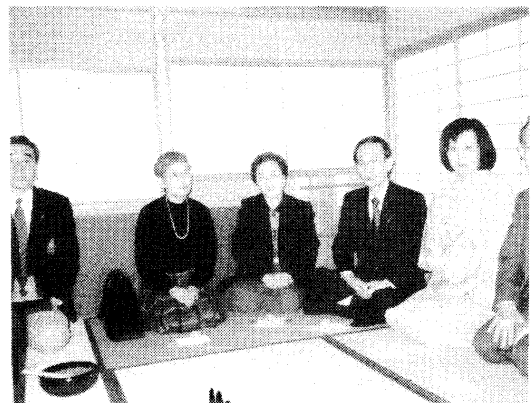
御茶会というものはおいそれと参加できるものではなく、立て出しならともかく本格的な席入りとなると自分の無作法に赤面し恥をさらすのが関の山で、その意味では今回の御茶会は迎える方も、御客になる方もよい経験をしたのではないかと思います。

日頃御稽古で御茶を習ってはいても、実際に御客を招いて作法をしたり茶席に入ったりする事は非常に難しく、本当の意味での御稽古だと



認識したのではないのでしょうか。先生に言わせると、茶道は15年やらなければ人前では御茶を立てられないし、作法にかなって御茶も頂戴できないと申します。炭をおこし香を焚き、お菓子を運び御茶を出すこの一連の御手前は、川の水が流れるごとく、決して留まる事なく自然の流れの中で終わらなければならないと申します。古今より茶道は禅の中で育ち、禅の高僧によれば「仏教哲学を極める事は茶道を極める事」とまで言われるほどです。なぜ茶道を習うのかと言うと、人生に於いて、仏教という信仰を持って生きていく上で、その仏教を難しい禅問答のような言葉で理解するのではなく、形の上でわかり安く教えてくれるのが茶道ではないかと考えています。一杯の御茶を立てるその心が茶道であり、その心を極める事が禅を理解する事で、さらには宗教から自分の人生観を養う事になるのです。

井川 幸吉



## 2月第1例会報告

## 卓話 「垣根を越えて」

㈱いずみ社長 山本芳子氏



講師山本さんは、いずみグループ中枢として心理カウンセリングによる「心と身のトータルケア、幼児からシルバーまでの教室」を開いております。又、YMCA少年部で活躍され現在はウェルネスの委員もされているバイタリティ溢れる女性です。

私はカウンセリングにより病気そのものを治せるとは考えていませんが、心を開いてあげるにより治癒力が出てくるのです。「病は気から」と言いますが、正にそういった経験をしています。精神的に落ちこんで歩くことも出来なくなった人が、自信をとりもどした瞬間に歩くことが出来るようになったり、ガン患者が心の支えをもつことで回復に向かったりすることが本当にあるのです。

登校拒否の子は、親では絶対に直せません。他人がじっくりと話を聞いてあげることです。聞く方もその子と同じレベルになって、同じ立場で聞くのです。時間のかかることですがそれしかないのです。

ある時、一人の社長さんから仕事の相談をう

けたことがありました。よく観察すると本人は気づいてないのですが、アルコール依存症なのです。仕事のストレス、回りの優秀な家族の中での孤独が原因のようです。私は彼にスポーツを勧めましたが、長続きしません。一人では出来ないのです。その時私は一緒にやってあげることが大切だと感じ、スポーツセンターを造ろうと決意しました。また、アメリカにシオントロジー（老人学）という学問があると聞き、勉強に行きました。帰ってきて日本に合うプログラムが作ればと考え、体育、音楽、絵画の組合せによるオリジナルプログラムを開発し、教室を開いています。

私はYMCAで多くのことを学び、現在があるのだとおもっています。世の中で一番大切なものは「愛」です。愛でも人の愛情は私欲が入ります。絶対的な愛、それは「神の愛」です。心の病気を治せるのはその神の愛です。今日の題として「垣根を越えて」としましたが、垣根とは「自分の我」のことです。欲心があるから不安があるのです。自分を縛るものを取り払うことで神の愛を受け入れることが出来るのです。

熱心な山本産のお話をうかがい感動いたしました。近日またアメリカへ勉強に行かれるようですが、最後に言われた言葉が印象に残っています。「無理せずに、無駄にせずに行ってください!」

服部 庄三

### 大会案内

今後行われる“大会”の出席メンバーを募集しております。現在メンバーは下記の通りです。日本区大会にむけて是非参加をお願いします。国際大会 於:カナダ 96.8.1~8.4

吉田(一)夫妻 服部夫妻 三井夫妻 坂倉佐藤

東副区大会 於:阿寒 96.6.8~6.9

吉田(一) 井川 坂口 服部 丹羽

加藤(道) 加藤(元) 吉田(正)

西副区大会 於:六甲 96.5.25~5.26

吉田(一)夫妻 池野 三井 坂口 服部

井川 滝川 尾崎夫妻 木野村

☆☆ 日本区大会準備委員会報告 ☆☆

2月20日付にて、愛知県芸術劇場ホールの利用内定通知が届き、いよいよ大会開催に向けて本格的な準備がスタートします。

2月21日(水)、第12回準備委員会を開催しました。井川会長のご紹介により、株式会社三晃社営業本部プロジェクト担当の高橋嘉朗氏、同じく営業部チーフの今枝洋視氏にお越しいただき、大会運営について、プロの目からアドバイスをいただきました。会場が会場だけに、我々が想像していた以上に、大会運営の重大さを痛感させられました。

まず、当日の司会者によってその大会の成功が大きく左右され、専門の方をお呼びするには一日30万円程度必要とのこと。また、国際大会であれば、同時通訳または英語に堪能な司会者が不可欠となります。さらに音楽や映像を効果的に使用することで大会がスムーズに流れますが、会場費の他に、内容によっては舞台機構・音響・照明・装飾にかかる費用だけで100万円以上は必要となり、特に大画面への同時映像には、カメラ・中継・送り出しの設備に一日300万円が必要とのことでした。さらには、機器オペレーターが20～30名、一日2～3万円、アトラクションの出演料、リハーサル費用、事務局のスタッフは100名程必要ではないか等々、費用・人材面での諸問題が浮かび上がってきました。

以上、大会実施には解決しなければならない難問が数多くありますが、せっかく押さえた会場を放棄するのではなく、最大限の努力をすることが確認されました。メンバーの意識を統一し、大会成功へのお力添えを改めてお願いいたします。

ハッピーバースディ

- メネット 11日 服部 智子
- 16日 吉田あま子
- 23日 坂野三知代
- コメント 5日 坂倉 未映
- 23日 井川 英明

'95 - '96 出席表

'96.2.27

No.	氏名	例 会	準2/6 備委 員日 本区 大会	ア2/11 プロ クテ ラム 茶会	2/13 第 一 例 会	準2/21 備委 員日 本区 大会	2/27 第 二 例 会	団2/28 フ ィ ー ク キ ャ ン プ ス			出 席 ポ イ ン ト
1	阿部 一雄	/	/	/	/	/	○	/			17
2	荒川 恭次	○	/	/	/	○	/				26
3	井川 幸吉	○	○	○	○	○	/				32
4	池野 輝昭	○	/	○	/	○	/				23
5	内垣内 登壘	/	/	/	/	/	/				7
6	馬場 寅太郎	/	○	/	/	/	/				12
7	尾崎 史忠	/	○	/	/	○	/				6
8	加藤 道子	/	○	○	/	○	○				26
9	加藤 元紹	/	/	/	/	○	/				13
10	坂口 功祐	○	/	○	○	○	/				33
11	坂倉 洋	/	○	○	/	○	/				28
12	佐藤 壽晃	/	/	/	/	/	/				10
13	真田 幸治	/	/	/	/	/	/				3
14	滝川 眞充	/	/	○	/	○	/				8
15	丹羽 眞清	/	○	/	/	○	○				17
16	服部 庄三	○	/	○	○	○	○				36
17	早川 隆	/	/	/	/	/	/				1
18	坂野 清治	/	/	○	/	○	/				5
19	三井 秀和	○	○	○	○	○	/				30
20	油口 直広	/	/	/	/	/	/				2
21	吉田 一誠	○	○	○	○	○	○				32
22	吉田 正	/	/	/	/	○	○				26
23	木野村 映	○	/	/	○	○	○				32

1996 - 1997 年度役員

- 会 長 荒川 恭次
- 副 会 長 丹羽 眞清
- 書 記 坂倉 洋
- 会 計 加藤 道子・吉田 正
- 会 計 監 査 服部 庄三
- 直 前 会 長 井川 幸吉
- 連 絡 主 事 木野村 映
- E M C 加藤 元紹・滝川 眞充
- YMCA. サービス 坂口 功祐・内垣内登壘
- CS・BF・TOF 阿部 一雄・真田 幸治
- 油口 直広
- I B C 池野 輝昭・三井 秀和
- 佐藤 壽晃
- プログラム 馬場寅太郎・坂野 清治
- ファン ド 加藤 道子・吉田 正
- ブ リ テ ン 井川 幸吉・尾崎 史忠
- 木野村 映